

その笑顔、ひとりひとりが宝物。

# Smile

2025年 8 月号

vol.712



- P3 「55年目の発掘と褒賞—第2期—」受賞者発表
- P4-5 受賞者の紹介
- P6-7 「本所・豊科支所」竣工 農業振興とくらしの活動拠点に



**I** NDEX

02・12	……すまいる情報チャンネル	13	……あしたへのあんしん
08・09	……安曇野豊穰堂農メモ	14・15	……うれし楽し交流広場
10・11	……ほっとレポート		

※表紙写真 JAあづみフォトコンテスト2024 佳作「お花畑を山車がゆく」

## 令和7年度 粉摺り調製技術者講習会開催のお知らせ

粉摺り調製技術者講習会を下記の通り開催いたします。水分計の検定を希望される方は事前に営農センターにご持参ください。(今年度より水分計の検定が有料になります。)詳しくは各営農センターにお問い合わせください。

開催日	開催時間	会場	対象地域
8月21日(木)	9:30~10:30	穂高会館 講堂	有明・北穂高地域
	11:00~12:00		穂高・西穂高地域
	13:30~15:00	サンモリッツ中ホール	豊科地域
8月22日(金)	9:00~10:00	倭ふれあいセンター 2階会議室	梓川地域
	10:30~11:30	三郷農村環境改善センター 多目的ホール	三郷地域
	13:30~14:30	堀金支所2階会議室	堀金地域

## 令和7年度 JA あづみ あづみのキッチン♪ 参加者募集!



JA あづみでは、次世代を担う子どもたちに食と農の大切さを伝えるため、安曇野で作られた農作物を使った料理教室「あづみのキッチン♪」を今年も開催します。ご家族、お友達をお誘いの上ご参加ください。

おひとりでの参加も大歓迎です。お申込み、お待ちしております。

★料理教室開催日程★ ※都合により日程が変更になる場合がございます。ご了承ください。

- 8/ 9(土) 伝統食教室(夏野菜を使ったメニュー)
- 8/24(日) おうちごはん(夏バテ解消メニュー)
- 9/13(土) 伝統食教室(手打ちうどんを作ってみよう)

募集人数 各教室 先着20名

開催場所 安曇野スイス村ハイジの里「食育ルーム」(安曇野市豊科南穂高5566-1)

持ち物 エプロン・三角巾(バンダナ)・ハンカチ(タオル)・上履き

申込方法 FAXまたはメールにてお申し込みください。ご連絡いただいた方に必要書類をお送りいたします。

※食物アレルギーのある方は、  
あらかじめご連絡ください。

【あづみのキッチン事務局】 営農経済事業部販売開発課  
TEL:0263 (72) 2933 FAX:0263 (72) 8551  
e-mail : a-kitchen@azm.nn-ja.or.jp

## ATMなどのサービスの一時休止について

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。このたびJAバンクはお客様へのサービスや利便性の向上を目的としたシステム更改に伴い、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

休止日	休止時間	休止するサービス(※)
令和7年8月16日(土)	21:00~24:00	全取引休止
令和7年8月17日(日)	0:00~ 8:00	全取引休止

(※) 休止するサービス：JAバンクのATM、コンビニ等のATM、JAネットバンクサービス、ジェイデビット

### 現金のお引き出しはお早めに

お客様にはご不便をおかけし誠に申し訳ございませんが、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

※JA・店舗・ATM・提携金融機関によっては、ご利用可能日、ご利用可能時間およびご利用可能サービスが異なるため、上記スケジュール以外にもサービスをご利用いただけない場合がございます。詳しくは、窓口・ホームページ等でご確認ください。

## 55年目の発掘と褒賞 受賞者発表

- 【農業大賞】** いっし 一志 みゆき さん
- 【後継者大賞】** はらぐち ともあき 原口 知明 さん
- 【未来開拓賞】** おがわ こうへい 小川 晃平 さん
- 【審査員特別賞】** にしざわ みつじ 西澤 満司 さん

JAあづみ創立60周年記念企画「55年目の発掘と褒賞～第2期～」の審査会が5月30日に行われ「農業大賞」などの4つの賞の受賞者を決めました。

6月14日に安曇野スイス村サンモリッツで「第6回安曇野の農業を守り、つなぐ農業者のつどい」を開催。農家組合（くみあい会）長や各部会代表、JAあづみ農政協議会委員、JA役職員ら約200人が出席しました。受賞した4名と推薦者4名を表彰し、褒賞を通じて地域農業の更なる振興を目指します。

同企画は、創立55周年を節目に3年間実施し、多くの組合員の皆様に好評をいただきました。しかし3年間では候補者を拾得しきれず、発掘人材はまだ多く残されていると考え、継続企画として第2期を迎えました。

たゆまぬ研究による著しい成果と功績をあげた農業者、安曇野の郷土の農業に挑戦する後継者の熱き想い、安曇野で農業を営む暮らしを始めた新たな担い手の夢と希望。この先駆的な取り組みなど幅広い世代層にスポットをあてることで、安曇野の今後の農業振興に繋げていくことを目的としています。

募集期間中には合計10人の推薦があり、審査会では各候補者の資料を基に、外部審査員やJA役職員で構成する審査委員会で厳正な審査が行われました。農業大賞に一志みゆきさん、後継者大賞に原口知明さん、未来開拓賞に小川晃平さん、審査員特別賞に西澤満司さんをそれぞれ選出しました。



▲審査会の様子

### 選出区分

#### －農業大賞－

肥料、種子、作型等の分野で研究や挑戦、改良等の著しい成果を上げた者やその成果で地域の農業をけん引している農業者



－農業大賞－  
いっし 一志 みゆき さん

#### －後継者大賞－

後継者不足のなか、農業の大切さを認識し、高い志をもって農業振興に取り組む若い世代の農業者で、数年後地域の担い手として活躍が見込める農業者



－後継者大賞－  
はらぐち ともあき 原口 知明 さん

#### －未来開拓賞－

Iターン（概ね就農5年未満の親元、UIターン、新規参入）などで新規就農を始めた農業者



－未来開拓賞－  
おがわ こうへい 小川 晃平 さん

#### －審査員特別賞－

審査員がたゆまぬ研究による著しい成果と功績をあげたと認定した農業者



－審査員特別賞－  
にしざわ みつじ 西澤 満司 さん

# 【農業大賞】

いっし  
一志 みゆき さん

## 受賞のポイント

堀金地区のセルリー農家に嫁ぎ、30年以上にわたり農業に従事されてきました。安曇野でも有数のセルリー農家として、37aの作付けを行い、採種用セルリーも40株以上栽培し、日々の栽培研究を通じて産地の維持・発展に尽力されています。

年々増加する耕作放棄地を防ぐため、集落営農組織「小田多井農村夢倶楽部」の設立から携わり、現在も役員として積極的に組織活動に参加し、地域農業を守る活動を行っています。

また地域活動にも取り組み、学校給食への食材提供や、収穫体験など農業の大切さを伝える活動を継続的に行い、農業を通じて地域のコミュニティの活性化にも貢献しています。

次世代へ農業の魅力や大切さを発信していく地域農業になくてはならない生産者の一人です。

長年にわたる栽培研究  
産地の維持・発展に尽力

【推薦者】堀金地域営農センター営農指導員 小山 幸さん

# 【後継者大賞】

はらぐち ともあき  
原口 知明 さん

## 受賞のポイント

一般企業に勤務していて、実家のりんご農家に親元就農を希望していたものの両親からは反対。原口さんの意思は固く、15年前に就農しました。縁があり、夏秋いちごをJAあづみに導入された方のもとで研修生として夏秋いちごの技術を一から学び、翌年から本格的な栽培を開始しました。

現在は、7aから始めた夏秋いちごを25.5aまで生産規模を拡大しました。今年1月には後継者育成と次世代の地域農業の受け皿づくりのために法人化。株式会社ミノリデイズを設立し、2名の社員を雇用しています。JAあづみ夏秋いちご部会長を6年間務め、産地の販路拡大に貢献されたほか、毎年農業高校生の研修や、夏秋いちごの新規栽培希望者の受け入れにも積極的に取り組んでいます。

原口さんの経験と、産地の将来を見据えた広い視野を持ち、地域農業を支える大きな柱となる心強い生産者です。

会社員から夏秋いちご農家に  
現在は規模拡大し法人化

【推薦者】梓川地域営農センター営農指導員 青柳 安定さん

# 【未来開拓賞】

おがわ こうへい  
小川 晃平さん

## 受賞のポイント

岐阜県出身で一般企業に勤めていましたが結婚を機に、夫婦で安曇野に移住し就農しました。会社員時代に営業で農家の方と接した際に、農家の方々が農業の魅力を語る姿に心を打たれ、移住前に参加した農業体験の経験で移住・就農を決断しました。

移住後は3年間三郷でりんご栽培を経験。2023年に三郷にて独立・就農を果たしました。農業について「普通のことを普通にこなせるようになる」ことを方針とし、地元の先輩農家や研修先の方と相談しながら、堅実に生産規模の拡大を図っています。JA生産部会の活動はもちろん、安曇野農業経営者の会など多くの地域活動にも積極的に参加し、地域住民との人間関係を築いています。

地域にとって新規就農・Iターン農業者の1つのモデルとして、今後のさらなる活躍が期待されます。

【推薦者】三郷地域営農センター主任 営農指導員 宮腰 政寛さん



夫婦でIターン就農  
地域活動を大切に新規就農の1モデルに

# 【審査員特別賞】

にしざわ みつじ  
西澤 満司さん

## 受賞のポイント

現在広く一般的に使用されている水稻肥料の成分設計の基となる「長野方式」の確立に尽力されてきました。

当時の水稻栽培で主流であった、窒素配分が「元肥8：追肥2」を6年間にわたり、県から委託された施肥配分試験を三郷試験地で実施し、多くの研究と努力を重ねられました。水管理や病虫害対策、適切な品種選定などを行いながら、従来の「草」作りから「実」に重点を置いた窒素配分「元肥5：追肥5」の肥料設計を策定されました。

結果、生育調査では、米粒をつけない無効分げつが大幅に減少し、反収の大幅な向上を実現しました。

昭和43年には、朝日農業賞「米作多収穫日本一」に出品され、10aあたり941.8kg(15俵)という驚異的な反収を達成し、見事受賞されました。

多くの失敗を糧に、現代農業に多大な貢献をされてきた西澤さんは、今もなお農業に携わり、将来の地域農業のさらなる発展を願う先駆者のひとりです。

【推薦者】降旗 政人さん (三郷地域)



現代の米作りの先駆者として  
地域農業の発展に貢献

# 「本所・豊科支所」竣工

## 農業振興とくらしの活動拠点に



### 日本所解体から外構整備までの軌跡



令和7年5月12日



令和7年1月30日



令和7年6月6日



令和7年3月21日



令和7年6月13日



令和7年4月7日

JAあつみは7月8日、「本所・豊科支所」の竣工神事及び祝賀会を安曇野市で開きました。竣工神事に続き、安曇野スイス村サンモリッツで祝賀会を開き、JA役員やJA全農長野、株式会社守谷商会など関係者約170名が出席。着工から引渡しまでの工事風景を映像で紹介するなど、これまでの経過を振り返りました。

宮澤清代表理事組合長は「竣工した施設が農業振興とくらしの活動の拠点となるよう業務に励んでいく」と挨拶を述べました。

昭和42年に建設された旧本所は鉄筋コンクリート造りの4階建て。当時としては時代を先取りする建物で、組合員の営農とくらしの活動拠点としてその役割を果た

してきました。建設から58年が経過し、老朽化や耐震性の問題から建て替えが求められることとなり建設に至りました。

竣工した施設は敷地面積4563.61㎡で約70台の駐車場を確保。昨年の10月末に「本所・豊科支所」の建物が完成し、建物は延床面積2358.1㎡の鉄骨2階建てで、1階には豊科支所やロビーセンター及び金融共済事業部、2階には総務開発事業部などの本部機能を備えます。引き続き敷地内で進められてきた旧本所の解体や外構整備を終え、令和5年11月から着工した一連の工事が完了しました。

25年3月に安曇野市と「災害時における施設等の使用に関する協



▲祝賀会であいさつを述べる宮澤組合長

定」を締結し、災害時には災害対策の拠点化や、地域住民に避難場所を提供するなどの役割を果たします。

# 災害時における活動拠点としての役割も 施設使用で市や地域住民の手助けに



▲新たに導入した蓄電池



▲市との災害時連携協定を  
結びました

J Aあづみは3月13日、安曇野市役所で市と災害時連携協定の調印式を行い、「災害時における施設等の使用に関する協定」を締結しました。同J Aが市と災害に対する協定を結ぶのは初めて。本所・豊科支所の建屋が昨年10月に完成したことをきっかけに、立地や施設面ともに、災害時に有効活用できることから本協定の締結に至りました。立地面で、安曇野市の中心地に所在していることや、約



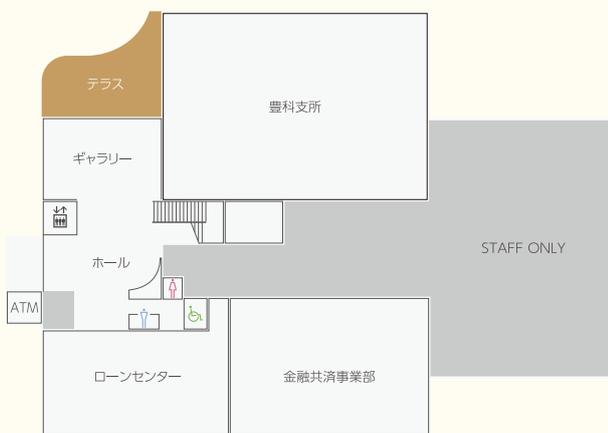
▲停電時に電力供給を行う  
発電機



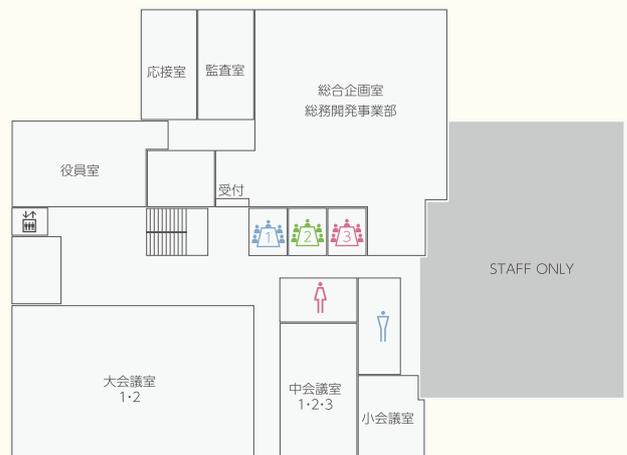
▲本所・豊科支所に設置した  
太陽光パネル

550m先に市本庁舎が位置していることもあり、災害発生時には関係機関が迅速に連携・対応できる拠点となります。太陽光パネルや発電機、蓄電設備を新たに導入したことにより、電力確保や供給ができる施設として、2階の各会議室等を一時的な避難場所として地域住民に開放することや、災害時の対策活動拠点としての役割も果たします。

## 1 フロアマップ 1F



## 2 フロアマップ 2F



豊かな安曇野の大地が育てる安全・安心な自然の恵み。皆さんと一緒に元気な農業をお手伝い!

## 果実

梅雨も明け、暑い日々が続いておりますが、皆様はお元気でしょうか?

8月に入り主要品目の早生品種が収穫期となっており、熱中症と収穫の遅れに注意して作業を進めましょう!

## 夏果物の収穫期です!!

自家用や直売用の果物は食べておいしい完熟で、出荷流通用の果物は日持ちも考慮して適熟での収穫を心がけましょう。特に外見で判別しづらい品種では、必ず味見をしてから収穫をこつこつ下やう。

## 夏季管理作業について

## 【新梢管理】

ブドウやキウイフルーツなどの棚栽培では、棚下に木漏れ日が落ちるくらいまで新梢の整理を行って下さい。特にブドウの副梢の管理や、キウイフルーツの徒長枝整理が終わっていない場合は、至急実施して下さい。

桃や梅などの核果類は陰芽(目

(三郷地域宮農センター主任 宮腰 政寛)

に見えない小さな芽)が少なく枝が禿げ上がりやすいので、徒長枝の整理をする場合は摘芯を行い、次年度以降に使う枝の確保を行って下さい。

梨は翌年の結果枝確保の為、誘引作業を行って下さい。

## 【枝吊り】

果実や葉の重みによって、枝が垂れ下がってきます。樹幹内に日光や風が届くように枝吊り誘引作業を行って下さい。除草管理などの邪魔になる下枝がある場合は、目印を付ける等をして剪定時に切除できるようにしておきましょう。

## 【見直し摘果作業】

仕上げ摘果が終わっていない場合は至急作業を進めて下さい。仕上がっている場合は、樹勢などに合わせて着果量を調整し見直し摘果に努めて下さい。

なお、管理作業の内容などご不明な点は各宮農センター果樹指導員までお問い合わせ下さい。

## 水稻

今月は、出穂の時期となります。これからの水管理と病害虫防除で収量や品質に大きく影響がでます。高温登熟対策・いもち病対策・カメムシ類による斑点米対策を行い、良品質米生産に向けた取り組みを行います。

※出穂始め…圃場内で初めて穂を確認した日

※出穂期……全茎数の40~50%出穂した日

## 今後の水管理

出穂期の前後3週間は稲が最も水分を必要とする時期です。この時期の水不足は、白未熟粒や胴割れ米の発生を助長し、品質低下の大きな要因となるため、出穂20日後までには常時湛水(3cm位)を保ちましょう。

また、田面が露出し始めたら速やかに入水し、湛水状態を保つとともに、適宜水の入替えを行います。

それ以降は、稲刈り前の落水まで、間断湛水を行ってください。早期の落水は胴割れ米の発生原因となりますので、極力収穫間際まで遅らせましょう。

## カメムシ類・穂いもち防除

カメムシ被害は、斑点米により等級を落とす原因となります。早

生品種では必ず穂揃い期と傾穂期(穂揃いの7~10日後)の2回、コシヒカリでは、傾穂期に防除を行います。

キラップ粒剤は、出穂7日前~出穂期の散布が効果的です。スタークル豆つぶ剤は出穂7~10日後の散布が効果的です。薬剤によって効果を発揮する時期が異なりますので、ご注意ください。

穂いもち病は出穂後、雨天の日や夕立が多いなど天候が不順な場合に発生が心配されます。予防防除が基本となりますので、昨年発生した圃場は特に注意し被害を最小限に抑えましょう。

※収穫前、農業によっては使用できる期限の迫っているものがあります。ラベルを十分確認してから使用しましょう。

詳しくは、各地域宮農センター又は各地区指導員までお問い合わせ下さい。

## 水稻栽培日誌の提出について

2回目の水稻栽培日誌の提出期限は8月15日(金)までとなっています。記入漏れがない事、特に出穂日の記入の有無を確認し、期日までに必ず提出をお願いします。

また、ライスセンターやカントリーエレベーター等のJA施設を利用される方は、出荷の有無に関わらず栽培日誌の提出が必要となりますので、必ず提出をお願いします。

(穂高地域宮農センター 唐澤 久智)

# そ菜

夏野菜の出荷が本格的になってきましたが、近年は高温干ばつの年が続いています。このような気候の際は、土壌の濁き具合に応じて朝夕の涼しい時間帯に畝間灌水をお願いいたします。ただし一度に多量な水を与えすぎると根を痛める原因となりますのでご注意ください。

トマトやキュウリなどの果菜類は、肥料切れすると病気等にも弱くなりますので、灌水に合わせ追肥も行いましょう。

## タマネギの播種準備

播種は定植から逆算して55〜60日前（9月上旬）が適期となります。今後の作業が適期に行えるように今月中から播種の準備をお願いします。播種時期を逃したり、大苗となったりすると来春の抽苔の原因となります。草丈20〜25cm、本葉4枚、1本の重量が2.5〜3.5gの苗を目標に育苗を行います。

## 種子

主な品種「七宝甘70」「ネオアース」は9月5日〜10日の間に播種

をしましょう。種子量は10aあたり60kg、シーダーテープでは600m必要となります。

## 苗床作り

苗床用に1坪当たり、完熟堆肥で10kg、アツミン苦土石灰1kg、1Bそ菜苗床1kg、BM重焼リン200gを施肥。この後に床作りを行います。雨で水浸ししないように高畝にしましょう。

## 苗床除草対策

雑草対策として土壌消毒剤「NCS」30倍液を使用し、播種の30日前には苗床の表面に均一に散布しビニール等で7日〜14日被覆をします。その後被覆を取り、7日〜10日ほどガス抜きをしてから播種をしてください。

JAでは、玉ねぎの面積拡大に向けて作付けの推進をしております。共同乾燥調製施設を利用し、省力化による作付けの拡大をお願いいたします。

詳しくは各地域営農センターへご相談ください。

（堀金地域営農センター 小山 幸）

# 陸ワサビ生産者募集

ハウスで栽培できるワサビを一緒に作りませんか??

※ハウスや灌水設備が必要となります。

## 陸ワサビの栽培メリット

- 適切な管理によって収穫量UP・収入UP!!  
※栽培がはじめての人でも栽培講習会などで栽培のポイントを教えます。
- 価格が決まっているので、安定収入が見込めます。
- 出荷コンテナ代などの出荷経費が掛かりません
- 選別が簡単です。規格が合えば、全量出荷できます。

**1aで1t 収穫できた場合は20万円の売上に!!**

※契約栽培となりますので、全量（株）マル井へ出荷いただきます。※20万円の売り上げを保証するものではありません。※栽培状況により収量実績は変動します。※ハウスを活用した栽培となります。

8月中に栽培講習会を行います。詳しくは、お近くの地域営農センターまで

新規栽培希望者説明会  
～開催のご案内～

8/19(火) 13:30～  
広域営農センター2階  
(安曇野市堀金2650-1)



6月  
26日

### 秋ストック播種講習会 効率的で丁寧な播種を

JAあづみ、JA大北、JA松本ハイランドの生産者でつくる中信ストック協議会は、秋ストック播種講習会を安曇野市で開きました。部会員や全農の職員ら約20人が参加。講習会では育苗箱に培土を敷き詰め、5センチ間隔で深さ1センチ程度の溝に均一に播種しました。農産課の小山幸亮営農指導員は「今後の鑑別作業が収量の確保につながる。効率的かつ丁寧に種を播いてほしい」と話しました。



6月  
18日

### カーネーション出荷目揃い会開催 品質良好

JAあづみカーネーション部会はそ菜特産流通センターで出荷目揃い会を開きました。小山幸亮営農指導員が販売情勢や出荷規格、荷造りの注意点などを説明。25年産は例年に比べ10日程開花が遅れましたが、草丈は長くボリュームがあり品質は良好です。唐澤秀昭部会長は「品質の良い物を1本でも多くお客様のもとへ届けたい」と意気込みました。



6月  
26日

### 国消国産セミナー開催

農家見学で農産物の収穫までを学び、地元の野菜や果物を深く知って消費し、地元の「食」を守っていくことを目標とする「国消国産セミナー」を開催しました。第1回は安曇野市堀金の生産者の圃場でブルーベリー狩りを行いました。たわわに実ったブルーベリーをその場で摘んで味わいながら、持ち帰り用の収穫も体験しました。



6月  
20日

### 第6回「ジャンボ玉ねぎコンテスト」開催 玉ねぎの大きさ競う

JAあづみ豊科支所は、同地域営農センターで玉ねぎの大きさを競う、「第6回ジャンボ玉ねぎコンテスト」を開きました。大相撲に見立てたユニークな企画で会場には27点もの玉ねぎが寄せられました。横綱に輝いたのは鳥羽建治さんと赤澤喜夫さんの玉ねぎでした。横綱賞を獲得した鳥羽さんは「この活動が安曇野の玉ねぎ振興に繋がれば嬉しい」と笑顔で話しました。



6月  
30日

### オーニソガラム出荷目揃い会開催 出荷最盛前に規格確認

JAあづみは、安曇野市のそ菜特産流通センターでオーニソガラムの出荷目揃い会を開き、出荷最盛期を前に規格や荷造り、販売情勢について確認しました。オーニソガラムは清楚で純白な花を咲かせる球根植物で主に冠婚葬祭、フラワーデザインなどに使われます。生産者の一人は「選花・選別を丁寧に、良質なものを消費者に届けたい」と話しました。



6月  
24日

### あずさマルシェ開催に向けてJR東日本社員が農作業支援

安曇野市とJAあづみはJR東日本の社員を受け入れ、三郷の大倉直樹さんの果樹園で桃の袋掛け作業を行いました。安曇野農産物を首都圏にPRする「あずさマルシェ」が今年9月に予定されていて、JRと市、JAが一体となって農産物の販路拡大を目指します。JR東日本の三澤薫さんは「生産者の苦勞がよくわかり、農産物に対するのありがたみをより一層感じる事ができた」と話しました。



7月  
1日

### 地域農業者同士のネットワーク構築へ 安曇野新興塾第3期入塾

JAあづみと安曇野新興塾運営委員会は、地域農業者同士のネットワーク構築を推進する「安曇野新興塾」の第3期入塾式を開きました。第3期生はJA管内で水稲や玉ねぎ、りんごなどを生産している専業農家で、主に20、30代の志の高い新規就農者やJA営農指導員ら9人が入塾。7月以降は先進地視察や塾生の圃場見学、講師を招いた公開講義といった内容に取り組んでいきます。



6月  
24日

### ヒマワリ圃場巡回 出荷ピーク前に確認

JAあづみ管内のヒマワリの出荷が、7月上旬から8月末にかけてピークを迎えるにあたり圃場巡回検討会を開きました。生産者やJA営農指導員ら11人が参加。生産者の圃場3カ所を巡り、生育状況の確認と栽培技術を共有しました。25年度は、約50万本の出荷量、販売額は2150万円を見込み、関西や中京方面を中心に出荷されます。

7月  
14日



### 安曇野産「桃」初出荷 夏の味覚味わって

JAあづみ管内で夏の味覚「桃」の出荷が始まりました。安曇野市三郷の小倉選果所で爽やかで香り高い早生種の「櫛形(くしがた)」と「赤宝(せきほう)」を選果しました。選果所では生産者が持ち込んだ桃をJA職員が一つ一つ手に取って確認。目視でキズの有無や着色を確認し、選果機のセンサーで大きさを判定し、「秀」と「優」の2階級に分け、箱に詰めました。

7月  
5日



### 七夕まんじゅうづくり 地域の子もたちと女性部がつながる

JAあづみ女性部有明支部は、安曇野市社会福祉協議会が運営する穂高北部児童館と連携し、七夕まんじゅうづくりを開催。地域の親子や同児童館を利用する小学生、支部員ら約50人が参加して互いの親睦を深めました。「地元産のものを食べてほしい」という思いで、部員らの家で採れた野菜や小麦粉など地元産の食材を使用。子どもたちは部員たちの手ほどきにより調理を楽しみました。

7月  
15日



### 「米粉のクレープと赤飯づくり教室」を初開催

JAあづみ女性部梓川支部は、優ふれあいセンターで初となる「米粉のクレープと赤飯づくり教室」を開催しました。優、梓地区で募集した組合員、家族ら17人が参加し、交流を深めました。女性部員の細田明美さんと山田昌子さんが講師となり、米粉のクレープと赤飯の作り方を参加者にレクチャーしました。参加者たちは「小麦粉で作るクレープよりもモチモチしていて美味しかった」笑顔で話しました。

7月  
9日



### 「童謡唱歌こだまの会」 節目の100回目迎える

JAあづみ有明出張所で毎月1回行われている、「童謡唱歌こだまの会」が100回目を迎え、同出張所で祝賀会を開きました。童謡や唱歌を歌いながら親睦を深め、地域住民が集う大切な場所になっています。同会代表の矢ノ口陽一さんは「振り返るとあつという間に10年が経過した。100回目は通過点。これからも元気に活動を続けていきたい」と笑顔で話しました。

7月  
15日



### 「PPバンドを使ったかご作り教室」開催

JAあづみ女性部温支部は安曇野市三郷の農村環境改善センターで「PPバンドを使ったかご作り教室」を行いました。講師と部員ら12人が参加しました。青や白、紫色の長さの異なるバンドを折り込んだり、テープを貼ったりしてかごを完成させました。参加者は、「出来上がるまでとても大変だった。収穫した野菜をいれたりして大事に使いたい」と笑顔で話しました。

7月  
10日



### 第49回畜魂祭 家畜の尊い命に感謝

JAあづみは安曇野市豊科の本所で家畜を供養する畜魂祭を開きました。畜産部会代表や行政関係者、JA役員職員ら約20人が参列。日々の生活を支え、食用として命を捧げた牛や豚、鶏、兔などの御霊に感謝し、畜産事業の発展を願いました。長年にわたり畜産業を支えてきた高齢の生産者から若手の関係者までが真摯な表情で臨み、命の大切さを改めて感じる時間となりました。

7月  
17日



### 旬のスイカを味わって JAあづみ青壮年部が保育園にスイカを寄贈

JAあづみ青壮年部は、松本市梓川や安曇の4つの保育園に「JA松本ハイランドすいか」10玉を贈りました。JA松本ハイランド青年部と連携した取り組みで、「地産地消」への理解を深めてもらうことが目的。この日はそれぞれの保育園に、大倉健太郎部長や帯刀洋亮副部長らが訪れ、旬のスイカを園児たちに寄贈しました。園児たちは「早く食べたいね」と大きなスイカを笑顔で受け取りました。

7月  
11~12日



### 「第51回かかし祭り」開催 今年もユニークなかかしがずらり

JAあづみは安曇野市堀金烏川でJAあづみ創立60周年記念企画「第51回かかし祭り」を開きました。会場には世相を反映したユニークなかかしが40体並べられました。ずらりと並んだかかしは来場者を楽しませていました。来場者の一人は、「今年もユニークなかかしが並んでいて、家族皆で楽しめた。孫の喜ぶ顔が見れてとても嬉しい」と笑顔で話しました。

## みどりの農業園芸講習会開催のお知らせ

新たな農業への挑戦と多様な担い手の確保を目的に下記の通り講習会を開催いたします。初心者向けのスタートコースと技術向上を目的とするステップアップコースがあります。

### 【スタートコース】

定員：20名

講習内容	日時	場所	受講料
有機肥料の特徴と土づくり教室	9月27日(土)	JAファームみどりの店会議室	200円
王子コンテナ株式会社長野工場見学	11月21日(金)	王子コンテナ株式会社長野工場	200円

### 【ステップアップコース】

定員：20名

講習内容	日時	場所	受講料
秋野菜を育ててみよう教室 ～防虫・防除を適正な農業で行おう～	8月23日(土)	JAファームみどりの店会議室	200円

### 【寄せ植え教室】

定員：10名

講習内容	日時	場所	受講料
寄せ植え教室	9月20日(土)	JAファームみどりの店会議室	1,500円

※電話でのお申し込みはできませんので、ご了承ください。

お申し込みは、みどりの店へご来店頂き、受講料のお支払いと一緒にお願いいたします。

なお、各講習とも定員になり次第、締め切らせていただきます。

【お問い合わせ先】 JA ファームみどりの店 ☎ 0263-73-7667 営業時間 8:30～18:30



### 盆花のご購入は JA 直売所で

8月10日(日)～15日(金)まで

お盆のお供え花や新鮮な野菜、果物などを入荷し、皆様のお越しをお待ちしています。

営業日時や商品の入荷状況などにつきましては、各直売所にお問い合わせ下さい。



安曇野スイス村ハイジの里 ☎ 87-0812

あづみ野ふる里市 穂高農産物直売所

☎ 77-7530

☎ 82-3115

### 農繁期用(配達灯油・軽油) 特別値下げのお知らせ

9月1日(月)～10月31日(金)まで

3円/ℓ値下げ

「秋の農繁期にご使用される米乾燥機用の灯油・軽油」に限り、特別値下げをいたします。

生産者の皆様、是非ご利用ください。

<お問い合わせ先>

灯油配送センター (☎ 0263-72-7811)

### 新規就農相談会 随時開催

当 JA では農業従事者の高齢化や担い手の減少が進む中、次世代の安曇野の農業を担う農業後継者、新規参入者、団塊の世代から定年帰農者など多様な新規就農者を支援するため、『新規就農相談会』を随時開催しております。

ご希望の方は、営農経済事業部担い手支援室(☎72-2933)までお気軽にお問い合わせ下さい。

は、農業機械センター(☎73-6886)までお気軽にお問い合わせください。

レンタルバインダーを  
ご用意しております

農業機械センターでは、農繁期対応中、一条刈りバインダーをレンタル致します。どつぞご利用下さい。

いよいよ稲刈りの時期が迫ってきました。農業機械センターでは、9月1日(月)から9月27日(土)まで、日曜・祝日も休まず農繁期対応として通常営業します。(天候状況により期間を変更する場合があります)

らよらよ収穫期  
農機の点検整備は万全ですか  
～農繁期対応致します～

# あしたへのあんしん

デイサービス  
あんしんの里  
**楡**

暑い時期になり、お天気と雨で楡の畑の野菜も大きくなり、収穫して食べれるようになってきました。梅の木にも沢山の実がなっています。枝ごとに切って室内で利用者様に枝から実を取っていただき、手慣れた作業であっという間にバケツの中が一杯になりました。取っていただいた梅で毎年恒例の梅ジュースを作りました。利用者様に瓶詰め作業をしていただき、梅と砂糖を交互に最後に酢を入れました。出来上がったら入浴後や夏バテ防止に飲み、元気に夏を乗り切りたいです。

壁画は蛍と蛍袋の花になり、「昔は当たり前のように蛍を見たのにねえ」と話題になります。



デイサービス  
あんしんの里  
**南穂高**

南穂高デイサービスでは、今年で100歳を迎える利用者が2名いて、どちらも同月の誕生月の方でした。「Happy Birthday」の曲を歌って賑やかにお祝いしました。参加した皆さんからは、「おめでとうございます」「これからも元気で通ってね」とお祝いの言葉があり、最後に記念写真を撮りました。

また、レクリエーションでは、今年初めての企画を立案し、6月の下旬より1週間の期間で南穂高商店と題し、買い物体験をしていただきました。予め職員が揃えた品物を、皆さんがそれぞれ貯めたお金を持って、好きな品物を選んでいただきました。たくさんあったので、「ん〜、どれにしようかな?」「これもいいの?」などと職員に聞きながら買い物をして、お茶の時間には自分で選んだ好きなお菓子を召し上がり、とても楽しんでいました。



## 貯めたポイントで買い物を デイサービスで初めての試み

デイサービスあんしんの里南穂高は初めての「南穂高商店」を5日間開きました。6月25日、来所していた利用者ら9人が参加し、日々貯めたポイントを使って買い物を楽しみました。

一人暮らしや車いすのため家族が代わりに買い物をしている利用者が多く、自分で商品を選んでお金を出す機会が少ないことから、自分のための買い物を楽しんでほしいと職員らで意見を出し合い、今回の開催が決まりました。

ポイントはデイサービスに来所するほか、野菜の収穫など日常生活の動作を中心に、できることを様々な場面でおこなった利用者に職員が加算していきます。

買い物は、ポイント数ごとに商品を用意。ハンカチやタオル、職員の手づくりキーホルダーやお守りなどを並べ、職員が店員になり本物の店のように買い物をしました。



▲商品を選ぶ利用者ら

## 年金相談室

年金の専門家（社会保険労務士または年金相談員）がわかりやすく相談に応じます。

夜間や週末も開催しております。お仕事帰りやお休みの日にもお気軽にお越し下さい。

日	時	場所
8月19日(火)	9:00~15:00	三郷支所
8月20日(水)	17:00~19:00	堀金支所
8月22日(金)	17:00~19:00	穂高支所
8月23日(土)	10:00~16:00	有明出張所 梓川支所

## 令和7年度新採用職員紹介

4月に将来のJAを担う新採用職員8名が入組し、それぞれの部署で仕事を始めて4ヶ月が経ちました。組合員や地域の皆様のお役に立てるよう今日も笑顔で頑張ります。



JA中信畜産酪農センター(出向) うちかわ ちひろ 内川 千尋  
 宮農経済事業部 農産課 おおみや たくみ 大宮 匠  
 宮農経済事業部 野菜特産流通センター いがらし けんすけ 五十嵐 健介  
 宮農経済事業部 販売開発課 たけむら あおい 竹村 碧



穂高支所 金融課 はせがわ かのん 長谷川 華音  
 堀金支所 金融課 さいとう りこ 斉藤 梨香  
 三郷支所 金融課 にしざわ えま 西澤 愛栄  
 梓川地域 営農センター こばやし はる 小林 羽琉

## CROSSWORD PUZZLE パズル

### タテのカギ

- 国際博覧会(万博)には——各国が展示します
- 朝顔——にとられてもらひ水(千代女)
- 官の対義語
- 合格を目指して受けることも
- 二十四節気のひとつ。令和7年は8月23日です
- 悪夢を食べるといわれる想像上の動物
- 旧国名のひとつ。今の滋賀県あたり
- 人が並んで作るもの
- コイン——に荷物を入れた
- 紙幣のすかし——は防止策のひとつです
- 魚などの内臓のこと
- あぶく。ソーダ水からたくさん出ます
- 半透明でプルプルした洋菓子

### ヨコのカギ

- ミーソミン、シャウシャウ、カナカナカナ……
- 物事にかかわりを持つこと
- 代金は今度まとめて払うね
- 西田佐知子のヒット曲、『コーヒー——』
- さだまさしの名曲『——流し』で歌われているのは、長崎県などですのお盆の行事
- スイカにかける人もいます
- 2分の1がハーフなら4分の1は
- チョウが吸うもの
- 台木にくっついたり挟んだりして育てます
- もう一杯、お——!
- 鼻の長い動物

Q. 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



(JA広報通信より引用)

### 応募ハガキの記入方法

(皆様の声をお寄せ下さい)

85 399-8283 安曇野市豊科 四二七〇一六  
 JAあづみ総務課  
 スマイル編集委員会 行

① クイズの答え  
 ② 郵便番号・住所  
 氏名・年齢・職業  
 電話番号  
 ③ JA・広報誌への  
 ご意見、日頃の  
 出来事など

応募締切  
8月18日(月)必着

正解の中から抽選で3名の方に、JAまごころ商品券(1,000円分)をプレゼントします。  
(毎月20日頃発送)

### A. 7月号の答え



解答 A B C D E  
 (㊦) (カ) (イ) (コ) (ト)

応募総数 30通

当選者 松本市 山崎さん  
 安曇野市 堀金さん  
 安曇野市 澤渡さん

## 理事会報告

〈7月29日開催〉

- 令和6年度 部門別・場所別経営分析結果について
- 令和7年度 仮決算方針並びに日程について 他

## スクラム

7月24日現在

直売所「安曇野スイス村ハイジの里」登録会員 / 712

## かかし人気投票・クイズラリー当選者のご紹介

7月11・12日の2日間、安曇野市堀金烏川のJA総合事業基地構内などで開催いたしました「第51回かかし祭り」にお越しいただき誠にありがとうございました。

厳正な抽選により、かかし人気投票・クイズラリーの当選者が決定致しましたのでご紹介させていただきます。



▲厳正な抽選により当選者を決定しました



### かかし人気投票当選者

赤羽 様  
吉澤 様  
矢口 様

### クイズラリー当選者

(りんごジュース6缶パック)

秋山 様 腰原 様 村山 様  
宮澤 様 鈴木 様

※たくさんのご応募ありがとうございました。

※かかしの人気投票結果 (全 402 票)

1位 JAあづみ60周年GOGOハワイ (92票)  
2位 かめはめ波 (91票)  
3位 あんしん「南穂高」 (25票)

相談  
無料



## 葬儀・法事 なんでも相談会



葬儀の疑問なんでもお気軽にご相談下さい  
お客様の不安を一緒に解決いたします

日時 8月20日 (水) 9時～15時

場所 JA虹のホールとよしな 〒399-8205  
長野県安曇野市豊科886

#### ● ご相談特典

虹のホールオリジナル  
エンディングノート  
&  
粗品プレゼント



#### ● セレモニー 会員当日入会特典

粗品プレゼント  
進呈



#### ● ご自宅への訪問相談 承ります

ご連絡いただき  
ご指定の日時に  
お伺いいたします



JAあづみ 有明ホール  
安曇野市穂高有明1723-1  
TEL 0263-83-8345



JA虹のホールとよしな  
安曇野市豊科886  
TEL 0263-73-6845



JA虹のホールとよしな別館  
安曇野市豊科886  
TEL 0263-73-6845



JA虹のホールあずさがわ  
松本市梓川俣702-4  
TEL 0263-78-1050

お問い合わせ・もしもの時は  0120-721-047



# JAあづみ 創立60周年記念事業

2024 金賞「こびえ取り」

## JAあづみ 2025 フォトコンテスト作品募集!!

安曇野に息づく伝統や地域農業にスポットをあてた写真を募集します

### 応募方法

題名、撮影場所、撮影月日、郵便番号、住所、撮影者氏名、年齢、電話番号を明記したものを作品に添付して、JAの  
本所、各支所・出張所、ふれあいセンター窓口へ直接提出していただくか、郵送の場合は下記までお送りください。

〒399-8283 長野県安曇野市豊科4270-6

JAあづみ総務開発事業部総務課「フォトコンテスト」係

- ・入賞作品の著作権は、主催者に帰属させていただきます。(後日、フィルム、デジタルカメラの場合はデータを提出していただきます)
- ・作品の返却をご希望の方は、作品に返却希望の旨を必ず明記し、送料分の切手と封筒をご同封願います。

### 作品の条件

- ・JAあづみ管内の農作業や伝統、JAあづみ60周年記念に相応しい風景(文化・食・工芸・祭りなど)が含まれ、季節感のある作品。
- ・未発表の写真に限ります(デジタルカメラのデータは500万画素以上で撮影されたもの)。
- ・被写体に人物が登場する場合、本人に了解を得たものに限ります。
- ・応募者本人が撮影したもので、四切(ワイド可)とします。
- ・応募点数はお一人様5点まで。特定の季節に偏らない作品(例:春夏秋冬各1点)。  
写真1枚を1点とし、組写真は不可とします。
- ・2020年9月1日以降に撮影されたものに限ります。(60周年記念特別賞についてはいつ撮影されたものでも構いません。)

### 賞・審査

- 60周年記念特別賞(1点) 賞状・賞金(5万円)
- 金賞(1点) 賞状・賞金(5万円)
- 銀賞(1点) 賞状・賞金(3万円)
- 銅賞(1点) 賞状・賞金(2万円)
- 安曇野季節賞(各季節1点ずつ計4点) 賞状・賞金(各1万円)
- 市民タイムス賞(1点) 賞金(1万円)
- JA共連連賞(1点) 賞金(1万円)
- 日本農業新聞賞(1点) 賞金(1万円)
- 農協観光賞(1点) 賞品(1万円分)
- 佳作 商品券

上記の各賞は、JAが選考した審査員により決定致します。

※入賞作品はJAオリジナルカレンダー、JAあづみホームページ等に活用させていただきます。

※賞の内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

### 入賞発表

2025年9月下旬、入賞者に直接通知するとともに、広報誌「スマイル」、JAあづみホームページ(<http://www.ja-azumi.iijan.or.jp/>)並びに報道機関を通じ発表いたします。

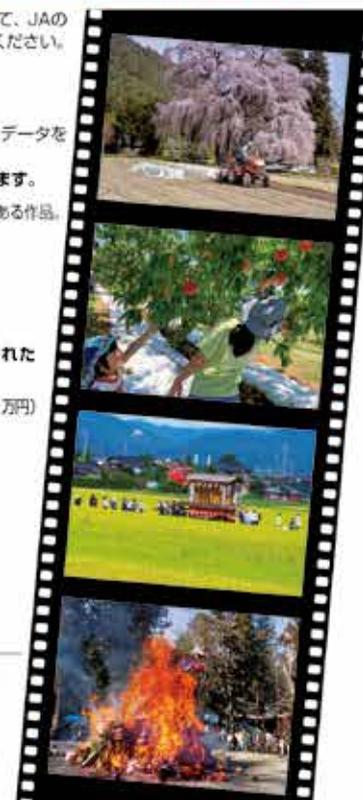
【主催・お問い合わせ】 **JAあづみ** TEL.0263-72-2930 代

【後援】 安曇野市・松本市

【協賛】 ㈱市民タイムス・全共連長野県本部・㈱日本農業新聞・㈱農協観光



フォトコンテスト  
詳細



## あづみ農業協同組合

- スマイル/No.712 2025年8月1日発行
- 発行人/宮澤 清
- 編集/スマイル編集委員会 編集事務局/総務開発事業部総務課  
〒399-8283 長野県安曇野市豊科 4270-6
- <http://www.ja-azumi.iijan.or.jp/> ●印刷/有限会社安曇印刷



JAあづみHP

＼SNSで旬な情報を投稿しています／



MATSUMOTO Yamaga F.C.

JAあづみは松本山雅F.C.を応援しています